

目指す姿

本市のにぎわいの拠点として「道の駅」が新たな名所になっています。

直売所では、地元・地域の農畜産物や本市の新たな特産品などが並び、周りでは農業体験や加工体験ができるなど、「農」の魅力がますます高まっています。

綾瀬スマートＩＣを利用して県外から訪れた幅広い世代のグループやファミリーが、この「道の駅」を拠点に、ドラマ、映画のロケ地や市内観光地巡りを楽しんでいる様子もよく見かけられるようになっています。

取り組みの方向

魅力的な道の駅の整備

市内外から多くの人を引き寄せるための魅力的な施設・機能の整備やイベント実施等の仕組みづくりを進めます。

主な取り組み

- 魅力的な直売所、地場産レストラン等の設置
- 地場農畜産物による食のイベント等の開催
- リピーターや常連客獲得に向けた仕組みづくり
- 災害時に対応した防災機能の設置

道の駅を拠点とした地域振興の仕組みづくり

産業や観光の振興、交流や魅力の発信等の拠点としての道の駅の活用を進めます。

主な取り組み

- 道の駅を拠点とした情報発信やロケツーリズム等の観光推進の仕組みづくり
- 道の駅を拠点とした農業振興の取り組み
- 特産品等の開発
- 高齢者等の活躍機会の創出

期待される主な効果

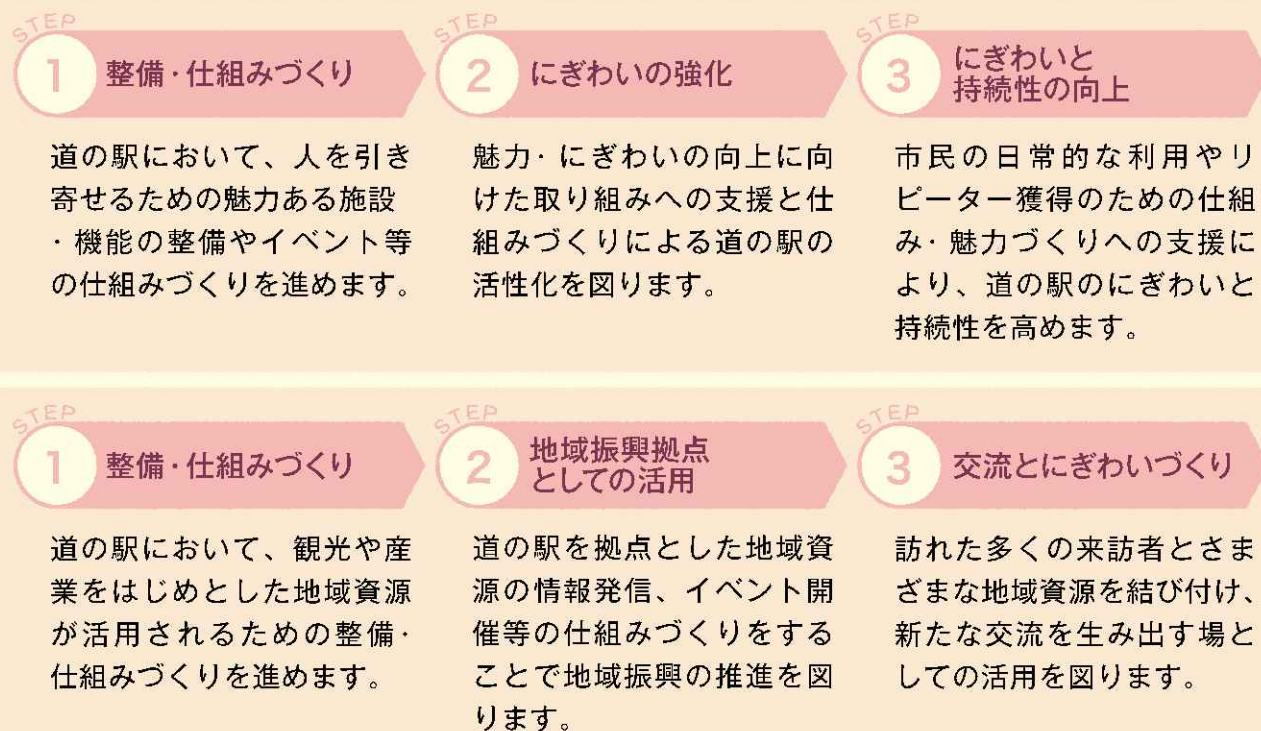
- 市の魅力と知名度の向上
- 交流人口の増加
- 地域の雇用・就業の場の創出、地域経済の活性化

現状・課題

綾瀬スマートＩＣ開通の効果を最大限生かすため、市内外からの集客が見込まれる施設の設置が求められていることから、道の駅を整備し、本市の食と農の魅力を発信する拠点としてイベントを実施するほか、特産品を使用した商品開発などの人を引き寄せる仕組みづくりが必要です。

地場農畜産物の市内流通量が少なく、市民が「農」に触れる機会も少ない状況のため、中心部に優良農地を有する本市の特色を生かし、直売所への地場農畜産物の安定供給や、農業体験の機会創出など、「農」を生かした道の駅の活性化の仕組みづくりが必要です。

取り組みの展開



- 産業や観光などの交流・情報発信の促進
- 防災活動の場として活用されることによる市民の安全性向上

6

稼ぐ 2

あやせ工場プロジェクト

目指す姿

社会情勢や景気変動に対応できる強い企業力を持った企業が増えています。

本市では、積極的な展開をしていく企業を応援しており、従来の自動車産業から、成長が見込まれる新たな産業への参入を図っている企業や、海外展開をしている企業、IoT化やロボットなどの新技術導入による生産性の向上を図っている企業が多く現れています。

「あやせ工場」として、企業間ネットワークが構築され、共同受発注のスキームが確立されているほか、次世代の担い手が育ち、事業承継や技能継承も円滑に行われています。

「ものづくりのまち綾瀬」のブランド化が進み、全国的に広く認知されています。

取り組みの方向

技術力の向上に向けた支援

社会情勢や景気変動に対応できる
強い企業力の向上に向けた支援をします。

主な取り組み

- IoT化やロボットの導入等の技術革新、成長産業への参入に対する支援
- 企業間ネットワークの構築
- 工業データベース活用等によるビジネスマッチングの促進
- 海外との交流、販路拡大への支援

「ものづくりのまち綾瀬」のブランド化促進

綾瀬市の「ものづくりのまち」としての
ブランド化・PRを行います。

主な取り組み

- ガイドブック等によるPRの推進
- マスコミ等を通じたPRの推進
- 市内小・中学校への学習の機会の創出
- オープンファクトリー等を通じたものづくりへの理解の促進

担い手づくりへの支援

次世代の工業の担い手づくりに向けた
支援をします。

主な取り組み

- 合同研修をはじめとした担い手の育成、ネットワークの構築等
- 事業承継、技能継承への支援
- 職住近接の促進
- 海外人材との交流支援

期待される主な効果

- 市内企業の企業力の向上
- 「ものづくりのまち綾瀬」のブランド化の促進

現状・課題

本市は、製造業の事業所が数多く集積しており、県内でも有数の工業地域となっています。人口減少による国内市場の縮小や技術革新による産業構造の変化など、社会・経済情勢が目まぐるしく変化する中、企業の技術力や適応力の向上が必要です。

「あやせ工場」の考え方のもと、企業間のネットワークを強化するとともに、次世代の担い手づくりや「ものづくりのまち」としてのブランド化によるさらなるPRが必要です。

取り組みの展開

STEP

1

新たな事業展開への支援

新分野への参入、海外展開等への支援を強化し、新たな事業展開・取り組みを促進します。

STEP

2

企業間連携の支援

新たな事業展開に対する支援強化と横展開の仕組みづくりを進めるとともに、企業間連携の支援をします。

STEP

3

あやせ工場の企業力強化

企業間のネットワーク強化による共同受発注の実現等、あやせ工場として各企業の企業力を高める体制を構築します。

STEP

1

展開の強化

PR強化や学校での学習機会の創出等による知名度向上とともに、made in ayase製品と連携したブランド発信の強化・仕組みづくりを進めます。

STEP

2

ブランドの普及・定着

家庭やイベント等さまざまな場面で made in ayase 製品が使用される仕組みづくり、ブランドによる地域への愛着・誇りの醸成を図ります。

STEP

3

ブランドの活用

ブランドを活用した市内企業の競争力の強化や、新たな担い手の確保につながる仕組みづくりを進めます。

STEP

1

育成への支援

担い手として定着するための支援や、育成、ネットワークづくりへの支援等、次世代の担い手が働きやすい環境や体制づくりを進めます。

STEP

2

活躍への支援

技術や能力の向上等、次世代の担い手が職場で活躍するための支援をします。

STEP

3

発展的な活動への支援

次世代の担い手の独自の取り組みや、担い手育成の横展開等への支援をします。

- 市内企業の販路拡大、高付加価値化による売上高の向上
- 担い手の創出や円滑な事業承継・技能継承などの促進

目指す姿

農畜産物のブランド化や、市の内外への販路が確立・拡大することにより、多くの人々に綾瀬産農畜産物が親しまれるとともに、本市が非常に品質の高い農畜産物の産地であることが広く知られています。

地域の支援を受けながら就農準備や営農ができる環境から、新規に農業へ参入する若者も徐々に増え、市内農業の持続性も高まっています。

農畜産物の高付加価値化と「農」の魅力向上により「稼ぐ農業」が推進され、本市を農業がしやすく、続けやすい場所にしていこう「あやせ農場」プロジェクトが進んでいます。

取り組みの方向

稼ぐ農業の推進

ブランド化や6次産業化の推進等により、綾瀬産農畜産物の高付加価値化や「農」の魅力向上を促進します。

主な取り組み

- 市内外への販路の確立と拡大
- 道の駅や直販所等を拠点とした「農」の魅力向上、情報発信
- 「あやせ農場」による、高品質な農畜産物の生産地としての積極的なPR
- ブランド化・6次産業化への支援

農業への新規参入の支援

農業者の後継者不足を補い、「稼ぐ農業」を維持するための、新規就農への支援をします。

主な取り組み

- 就農への支援強化
- 地域サポート体制の強化
- 援農ボランティアの活用・連携強化

期待される主な効果

- 農業による市内経済の活性化
- 新規就農者の増加と農業後継者不足の解消

現状・課題

都市型農業の取り組みを進めており、都心部の大消費地に近いという優位性を生かしたさらなる展開が必要です。

トウモロコシがブランド化され、市内外における知名度が向上しつつありますが、農業の持続的な発展には「稼ぐ農業」のさらなる推進が求められており、綾瀬産の農畜産物全体のさらなる高付加価値化が必要です。

高齢化及び後継者不足による担い手不足が進んでおり、就農へのハードルが高いことから、新規就農者への技術や販路の確立といったソフト面へのサポートを強化することが必要です。

取り組みの展開

STEP

1

仕組みづくり

農畜産物のブランド化の推進に向けた体制と仕組みづくりを進めます。

STEP

2

観光との連携の強化

道の駅を拠点とした新たな直販所等の観光スポット化に向けた支援・仕組みづくりを進めます。

STEP

3

稼ぐ農業体制の構築

さらなる販路拡大とブランド化、「農」の魅力向上等により、農業の「稼ぐ」体制を構築します。

STEP

1

サポート体制の整備

地域によるサポート体制を整備し、新規就農しやすい仕組みづくりを進めます。

STEP

2

営農活動の持続に向けた支援

新規就農者の営農活動への支援体制を構築し、継続して営農できる環境づくりを進めます。

STEP

3

担い手としての定着・活躍支援

就農後に早いうちから担い手として活躍できる環境づくりを進めます。

- 販路拡大、高付加価値化による売上高の向上
- 地場農畜産物の市内流通の強化、市内消費の拡大

目指す姿

市民や市内事業者との協力体制により「ロケのまち あやせ」が定着し、ロケツーリズムを目的に市外から多くの人々が訪れ、地域にも愛されるまちになっています。

市内の多くの観光資源が注目を浴びるとともに、魅力的な商店や飲食店も増え、訪れた人々にぎわっています。

こうした、観光資源や商店、飲食店を活用した「オールあやせ」の観光が実現し、ますます市の魅力が高まっています。

取り組みの方向

ロケツーリズムの推進

綾瀬ならではの観光資源としてロケ地を活用するため、ロケの誘致促進とロケツーリズムの取り組み強化を図ります。

主な取り組み

- ロケーションサービスの強化（ロケ誘致、受入・連携体制強化等）
- 誘客につながるロケ地の整備
- ロケツーリズムによる誘客促進、リピーターづくりの強化
- 「ロケのまち」としてのイメージ戦略

市内資源の観光活用

ロケツーリズムと連携しつつ、市内観光資源の活用・連携や掘り起こしを行い、観光地としての魅力の向上により、交流人口の増加と市内消費の拡大を図ります。

主な取り組み

- 効果的な観光情報提供の促進
- 広域連携、市内観光資源を活用したツーリズム事業の推進
- 市内商工業者等との連携による観光集客イベントの開催
- 観光に関する庁内連携体制の構築

魅力ある商店や飲食店づくりと観光連携

市の魅力向上や市内消費の拡大につながる魅力ある商店や飲食店を支援し、観光連携体制を構築します。

主な取り組み

- 魅力ある商店や飲食店づくりへの支援
- グルメ商品、土産品の開発支援
- 市内飲食店等との観光連携体制の構築

期待される主な効果

- 交流人口の増加
- 市内産業の活性化と市内消費の拡大

現状・課題

商店や飲食店への個々の支援のみでは商業活性化は難しく、ロケや他の観光資源との組み合わせにより、多くの誘客につなげるための連携強化、魅力の向上など、本市ならではの展開が必要です。

官民一体のロケ誘致やロケツーリズムの推進をしていますが、継続的な誘客につながる観光資源に成長させることが必要です。

観光による誘客を市内消費につなげる仕組みが不足しており、魅力ある商店や飲食店づくりを進めるとともに、販売意欲、開発意欲の向上を図ることが必要です。

取り組みの展開

STEP

1

誘致体制の見直し

ロケ候補地の掘り起しやロケ受け入れ・連携体制等の見直しによる、継続的なロケ誘致に向けた体制強化を図ります。

STEP

2

誘客力の強化

観光的魅力を感じるロケ地の整備・仕組みづくりにより、ロケツーリズムの誘客強化を図ります。

STEP

3

シティプロモーションへの展開

「ロケのまち あやせ」によるシティプロモーションの全国展開・発信により、ロケ誘致・誘客強化の好循環を生み出します。

STEP

1

連携体制の構築

市内観光資源の掘り起こしと連携体制の構築による、活用に向けた地盤づくりを進めます。

STEP

2

仕組みの定着の促進

資源の融合・連携による観光の魅力の向上と地域・民間の活力による観光の仕組みづくりを進めます。

STEP

3

受け入れ体制の強化

観光に選ばれるまちとして人を受け入れる体制の強化、魅力向上への支援を強化します。

STEP

1

商店等の支援の強化

魅力的な商店や飲食店づくり、創業支援や商品開発・販売等への支援を強化します。

STEP

2

観光との連携構築

魅力的な商店や飲食店、新開発商品等を観光による誘客に結び付ける仕組みづくりにより、さらなる魅力の向上を図ります。

STEP

3

観光連携への支援

観光と連携した商店や飲食店の積極的な取り組みに対しての支援を強化します。

- 観光地としての本市の魅力、知名度の向上
- 新たな創業、新商品開発がしやすい環境の形成

目指す姿

中心市街地では、これからの本市の活性化を促進する舞台としてリニューアルがされ、既存施設と新規施設の相乗効果による利便性や魅力の向上が市内外からの誘客につながり、新たなにぎわいが創出されています。

民間活力により、買い物、食事、趣味、教育、文化などが楽しめる施設が整備されるとともに、特色ある商業施設により、集客力が高まり、地域経済が活性化しています。

取り組みの方向

中心市街地への魅力ある商業施設の誘致

消防本部庁舎跡地や市民文化センターエリアへの商業施設誘致、民間活用をはじめとする、魅力的な中心市街地へのリニューアルを進めます。

- 主な取り組み
- 消防本部庁舎跡地を活用した特色と集客力のある商業施設の誘致
 - 中心市街地に出店する商業施設への支援
 - 市民文化センターエリアにおける、魅力向上につながる民間活用

中心市街地の利便性の向上

商業施設と公共施設の連携の仕組みづくりや回遊性の向上等の中心市街地の利便性の向上を図ります。

- 主な取り組み
- 商業施設と公共施設の連携の仕組みづくり
 - 中心市街地の活性化を意識した公共施設の活用
 - 中心市街地の回遊性の向上

期待される主な効果

- 中心市街地の魅力・利便性の向上
- 交流人口の増加

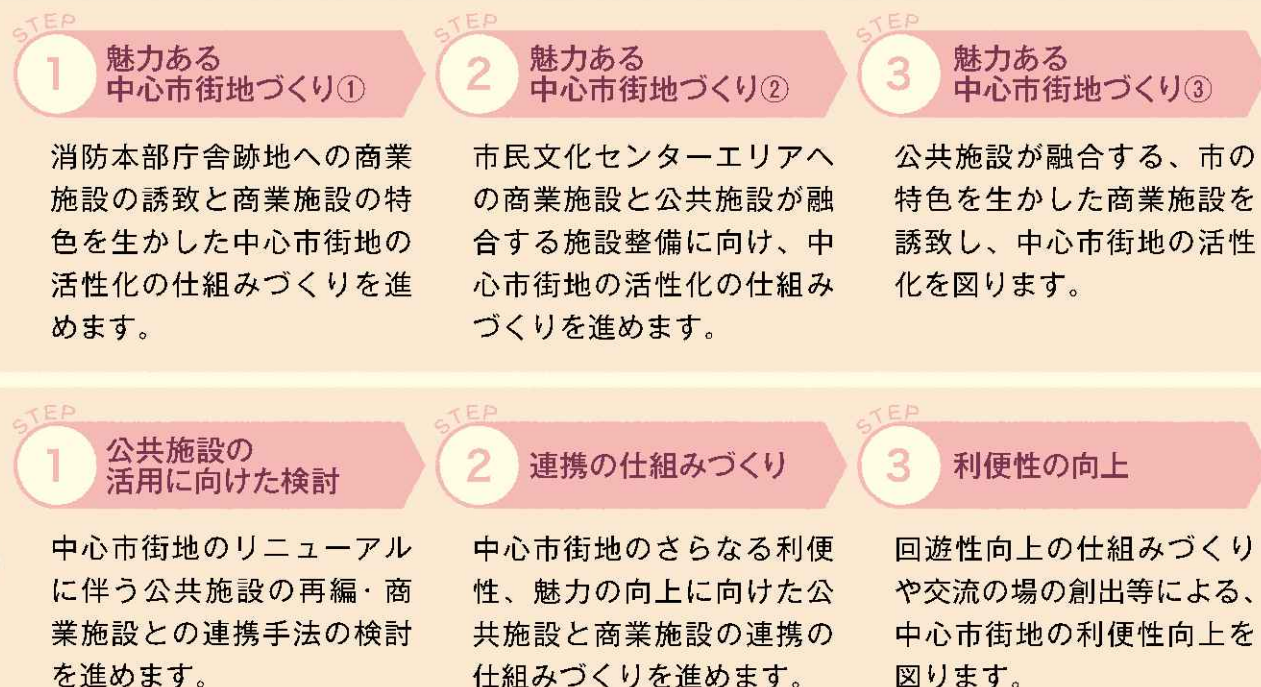
現状・課題

綾瀬スマートＩＣの開通や道の駅の整備を控え、中心市街地を市内外からより多くの人を引き寄せ、市の新たなにぎわいと交流を生み出す地区として再整備・展開していくことが必要です。

魅力ある商業地域として、本市の特色を生かした商業施設の展開や、回遊性などの利便性の向上とともに、生涯学習、市民活動を促進する拠点としての整備が必要です。

公共施設マネジメントの観点による検討を踏まえながら、文化施設を含む行政施設と商業施設の相乗効果が生まれる整備・展開を検討していくことが必要です。

取り組みの展開



- 市内消費拡大、地域経済の活性化
- 教育、文化、生涯学習環境の向上